

マネージメント会社・ディケイド設立25周年記念映画。

大人になっても、何ひとつ解決しない。 人生には答えがないのだ。

国際映画祭の常連である河瀨直美監督をはじめ塚本晋也監督、山下敦弘監督、若松孝二監督、瀬々敬久 監督、諏訪敦彦監督、大森立嗣監督らの国際的評価の高い映画作品に数多く出演する俳優のマネージメント 会社ディケイドが、設立25周年を記念して、自らが企画、自分たちにとっての日本映画は何なのか、自問自答 しながらも製作をした本作。

主演の三浦誠己をはじめ、渋川清彦、中村優子、山本浩司、松浦祐也、テイ龍進、石橋けい、大西信満、 村上虹郎、渡辺真起子、村上淳ら実力派俳優が集結。長編デビュー作『MASK DE 41』(田口トモロヲ主 演、2004)で釜山国際映画祭で企画賞グランプリを獲得するなど、国内外から注目される個性派監督・ 村本大志監督のもと、俳優と俳優の個性がぶつかり合うアンサンブルとなった。本作のテーマ曲は、クリ エーターに絶大な信頼を得ている大橋トリオの書き下ろし「Amy said」。劇中でも象徴的なシーンで歌われ ており、本人役としても出演している大橋トリオの甘い楽曲が、美しい映像をより感傷的に演出している。

日本映画を面白くする俳優たちとプロのスタッフが「インディーズ映画を本気で作ろう」という情熱のもと製作 された、映画館で映画を観る喜びをきっとまた思い出すことができる、大人の青春群像劇がここに誕生した。

STORY

あの日、エミは言った(Amy said)…。

全員が、心の片隅に鳴り響いていたエミの言葉をしまい込んでいた。

映画研究会のファムファタル的存在だったエミ(柿木アミナ)が突然彼等の人生からいなくなって20年。 その命日に久しぶりに集まったのは、パン屋を営む朝田(三浦誠己)、無農薬野菜をつくる飯田と直子(渋川 清彦、中村優子)、売れない俳優岡本(山本浩司)、キャリアウーマンの美帆(石橋けい)、デイケアセンターで 働く五島(松浦祐也)、IT会社を経営する木塚(テイ龍進)。「わたし本当は知ってるの、エミが死んだ理由。 ずっとみんなに言いたかった。」突然の直子の言葉に、それぞれの中で止まっていた時間が動き出す。そしてそ こに訪れる、招かれざる客、川崎(大西信満)。彼が現れた理由は、朝田にとって思いもよらないものだった。 かつて同じ夢を見て、同じ夢に破れた。20年後、僕たちはようやく本当に語るべきことを語り合える。生きる こと、死ぬこと、そしてまた生き続けること。エミが最後に言いたかった事を探す、ある一夜の物語。

松木 (澁谷 麻美 アルバイト



長谷部 (村上 虹郎 アルバイト

パン屋



現在

戸倉 (村上 淳)



飯田 芳



(テイ 龍進) IT会社を経営。見栄っ張り な性格が仇となり、事件が



(三浦 誠己) パン屋店主。かつては映画 づくりに熱中していたが、 ある日を境に撮ることを辞 めてしまった。



人物相関図

馴染みの店

大橋トリオ

BARオーナー

(小山燿) バイト店員

(中村 優子) 飯田の妻。大学時代、脚本 を担当していたため作家気 質なところがある。



(柿木 アミナ) 映画研究会のマドンナ。全 員の憧れの的であった。



飯田 (渋川 清彦) 平凡を愛する男。妻の直子 と共に、有機農業を経営し ている。







(渡辺 真起子) 岡本の所属事務所 社長



川崎

(大西 信満)

映画に恋に切磋琢磨した

朝田のライバル 約20年ぶ

りに姿を現した。

岡本 (山本 浩司) 小劇場出身の売れない俳 優。夢はハリウッド進出。



五島 (松浦 祐也) デイケアセンターで働く、 心優しい男。朝田の映画を 大いに支えた一人。



(石橋 けい) 仕事に生きるキャリアウーマ ン。大学時代は、朝田の才 能に可能性を感じていた。